

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
小林市野尻町	野尻原地区	令和4年3月31日	—

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	187.6	ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	138.6	ha
③地区内における70才以上(10年後80才以上)の農業者の耕作面積の合計	75.8	ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	16.6	ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	1.1	ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	127.1	ha
(備考)		

2 対象地区の課題

<p>(1) 野尻原地区においては、現在耕作者が70代以上の農地の内、約2割が後継者未定・不明となっており、今後10年以内に、耕作者不在農地となることが懸念される。一方、管内の規模拡大志向者は、約127haの規模拡大を希望しており、耕作者不在農地を十分カバーできるニーズが存在する。しかしながら、拡大志向者は露地野菜や飼料作物の栽培を予定しており、耕作者不在農地は、現在水稲作に使用されている農地が多いことから、農地の適切な利用調整が必要である。</p> <p>(2) 野尻原地区においては、パイプライン化や農道整備のため県営経営体育成基盤整備事業に取り組んでいる。促進費を獲得し、地元負担を軽減するために、地区内農地の55%以上を担い手へ集積する必要がある。</p>
--

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

<p>農地中間管理事業を活用した農地集積へ向けて、農地の利用調整や集約化、集積可能農地の掘り起こし等のため、地区での話し合いを継続していく。話し合いにおいては、より綿密な調整ができるよう、地区を細分化した話し合いの単位を設定する。</p>
